

東北労働金庫「障がい者の就労支援のために」東北6県に寄付

7月3日、東北労働金庫岩手県本部（八幡博文本部長）から岩手県社会福祉協議会（長山洋会長）に、38万8千円の寄付がありました。これは、同金庫（本店仙台市、砂金良昭理事長）が社会貢献活動の一環として今年度から開始した、積立型預金等の新規契約1件ごとに100円を拠出し東北6県の社会福祉協議会に寄付する活動によるもので、本県を含めた今年度の寄付金総額は232万円余となります。



東北労働金庫岩手県本部・八幡博文本部長（左）

贈呈式では、八幡本部長から「障がい者の就労支援等に役立ててほしい」と寄付金の目録が手渡され、長山会長は、「障がい者施設は新型コロナウイルスの影響で大きな被害を受けている。利用者や支える職員にとっては大きな励みになる」と感謝を述べました。

本寄付金は、県内5施設に配分され、就労支援の環境整備など、障がい者のために活用されます。

岩手銀行労働組合「いわて車いすフレンズ活動に」使用済み切手を寄贈

8月17日、岩手銀行労働組合（及川泰宏執行委員長）から岩手県社会福祉協議会に使用済み切手6,920グラムが寄贈されました。寄贈式では、及川執行委員長から岩手県協宇土沢学事務局長に「例年よりも多くの切手が集まった。いわて車いすフレンズの活動に役立ててほしい」と目録が手渡され、宇土沢事務局長は「息の長い支援に感謝申し上げる。アジア諸国には、車いすを購入できず日常生活に困っている人がたくさんいて、工業高校生たちは、少しでも役に立ちたい思いで修理活動に取り組んでいる。これまでに965台の車いすを寄贈できているのは、皆様の支援のおかげ」と述べました。

同組合によるこの取組は、「いわて車いすフレンズ」活動が始まった平成15年度から継続され、今回で18回目となります。寄贈された使用済み切手は、車いすを海外へ送り出す際の国内輸送費の一部として活用されます。



岩手銀行労働組合・及川泰宏執行委員長（左）

特定非営利活動法人サンガ岩手に感謝状を贈呈

特定非営利活動法人サンガ岩手（吉田茉莉子理事長）から岩手県共同募金会に50万円の寄付があり、7月14日、岩手県共同募金会会長感謝状が贈呈されました。

贈呈式では、吉田理事長から「岩手県内の地域福祉活動に役立ててください」と挨拶があり、岩手県共同募金会会長山洋会長から感謝状が贈呈されました。

サンガ岩手は、平成25年2月、東日本大震災の復興支援を目的に設立され、大槌町で手作り工房おおつちを開設。刺し子や藍染などのものづくりを通じ、被災地での仲間づくりや生きがいづくりによる地域コミュニティの形成支援に取り組んできました。平成30年4月からは、盛岡市内に放課後児童クラブを開設し、放課後や長期休暇中の小学生を対象に、異年齢の仲間づくりや居場所づくりに取り組んでいます。

同法人からの寄付金は、岩手県共同募金会が実施する助成に役立てられ、地域福祉のために活用されます。



特定非営利活動法人サンガ岩手・吉田茉莉子理事長（右）

新任職員を紹介

令和2年8月から、岩手県社会福祉協議会に次の職員が配置されました。どうぞよろしくお願いいたします。

▶福祉経営支援部

高橋 健一 専門員

小野寺 知恵 農福連携コーディネーター

皆様のご支援ありがとうございました

本会事業のため、ご寄付いただき感謝申し上げます。

株式会社ブリッジ 40,000円(8月6日、9月2日)

四国団扇株式会社 大人用マスク300枚ほか

(8月20日)